挑め、ともに！「白い森人創生プロジェクト」
地域の様々な主体と協働した人材育成と地域活性化・地域創生

学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数（赤字は内学校運営協議会委員数）			地域学校協働本部
山形県立	小国高等学校学校運営協議会	地域学校協働活動推進員	0 名	0 名	白い森地域学校協働本部
小国高等学校	平成29年4月1日 設置	地域コーディネーター	9 名	6 名	

取組の背景及び目標や目指す姿

背景

人口減と少子化の影響による高校廃校に伴う地域活力の低下への危機感から、高校・地域協働体制が生まれた。地域と協働した特色ある教育活動を通し、生徒の小規模校への誇りや郷土愛の向上、主体性、協働性等の伸びが見られる一方で、生徒数減、人間関係の固定化といった課題があり、令和3年度からは県外から生徒の受け入れを開始した。小国町は豊かな水資源や電力を基盤とする半導体部品製造と重化学工業等に支えられているが、地域産業を担う人材等の不足が課題となっている。

目標や目指す姿（学校）

郷土愛を持ち、「主体性」「挑戦心」「協働力」を備え、将来グローカルな視点で地域創生に主体的に貢献する人材の育成。

目標や目指す姿（地域）

高校を核とした地域活性化と地方創生。郷土愛を持つ地域人材育成。県外生徒の受入れに伴う県外関係人口等の創出。

小国高等学校学校運営協議会　の特徴

委員の立場や属性等

- □ 地元就職若手卒業生
- □ 保護者・PTA関係者
- □ 地元企業職員
- □ 地元起業家・自営業者
- □ 地域留学生ハウスマスター
- □ 町役場職員
- □ 地域おこし協力隊
- □ 短期大学教員

など、計 **15** 名で構成

年間平均 **3** 回程度開催

効果的な運営の工夫

教育目標の実現、学校・地域課題改善及び学校運営強化を実現するための人材を、それぞれの役割を明確にした上で多様な委員を人選し、協議会を組織している。また、下記の効果的な運営の工夫を行っている。

・学校運営協議会資料を委員に事前に送付し、協議事項や意見聴取事項を明らかにしている。

・学校運営協議会の議事録を作成するとともに、委員から聴取した意見等を教育の充実や改善にどのように結び付けたのかを委員と共有している。

特徴的な取組と成果・効果

取組

学校運営協議会

郷土愛を持ち、積極的に地域とつながり、地域づくりを担う人材育成を図るため、「総合的な探究の時間の増単位」、「町バスの活用」、「地域スポーツクラブとの連携」、「コーディネーター配置」等が協議され、学校運営協議会の権限を効果的に使用した結果、すべてが実現している。

熟議の様子

地域学校協働活動

実施に当たっては、コーディネーターが地域人材と事前調整を図ることにより、効果的な実施が実現している。町役場、町商工会、企業、自営業者、NPO、農家、獣医師、マタギ等と幅広く連携が図られている状況で、生徒たちの豊かな学びが実現している。

2年「トークフォークダンス」

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

町教育委員会内に「高校魅力化推進室」を設置し、町と学校が一体となって協働しながら地域学校協働活動による高校魅力化と地域活性化を推進するとともに、高校職員室で教員とともに業務を行うコーディネーターが、その取組みを外部に積極的に発信している。学校運営協議会の協議結果を地域学校協働活動に具現化するためのCSコア会議を設置し、効果的な運営の実現を図っている。より具体的には、地域学校協働活動部会と生徒確保・留学生支援部会を設けて、効果的な運営となるよう工夫している。

成果・効果

平成30年度に、地域の多大な支援を受けながら、第1回全国高等学校小規模校サミットを開催。地域と協働した活動が生徒の成長に大いに貢献することが確認された。翌令和元年度から3年間、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定校となり、コミュニティ・スクールの特性を活かした地域の様々な主体との協働により、学校教育目標の実現に向け、目指す資質・能力の育成を図った結果、下記のような成果があった。

●生徒の行動実績（資質・能力の発揮）：（1年時から3年時の肯定的回答割合の変化）「主体性」61.4%→71.4%, 協働性54.5%→71.4%と、入学時より「主体性」「協働性」が伸長した。

●教育活動の成果：（1年時から3年時の肯定的回答割合の変化）「課題設定力」36.4%→76.2%「行動力」59.1%→73.8%「粘り強さ」61.4%→83.3%「受容力」63.6%→85.7%　育成したい資質・能力「課題設定力」「行動力」「粘り強さ」「受容力」について、3年間で顕著な伸びが見られた。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施により、生徒の総合的な学校満足度の高まり（3年時の肯定的回答90.5%）や生徒が地域の魅力を再認識して郷土愛や誇りを高める等、積極的に地域とつながろうとする人材の育成に効果があった。　※（参考）高校魅力化評価システム 組織診断ポートフォリオ（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング）結果（令和3年度）